



11月！まぶしい太陽、美しい葉っぱ、そして涼しい。ポーポキは外で遊ぶときはいつもマスクをつけて、手も足もよく洗う！あなたも同じようにしていますね。みんなで気を付けて、会える日を楽しみに待ちましょう！



Popoki's Hot News!



Coming up!

「ポー年会！今年・安心・平和をふりかえる！」

オンライン 12月11日 19:00～

詳しくは8ページをご参照ください！

お待ちしております！



ポーポキのマスクギャラリー動画！

ぜひ見てくださいね！

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのジーンにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「神戸が初秋に入ったばかりの時でした。帰り道、『季節が寒くなりましたので、気をつけて』という優しい声が聞こえてきました。優しい笑顔のおばあちゃんでした。

『ありがとう！』微笑みながら少しお辞儀をした後、歩き続けました。見知らぬ人でもお互いに挨拶できるなら、これは平和です。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



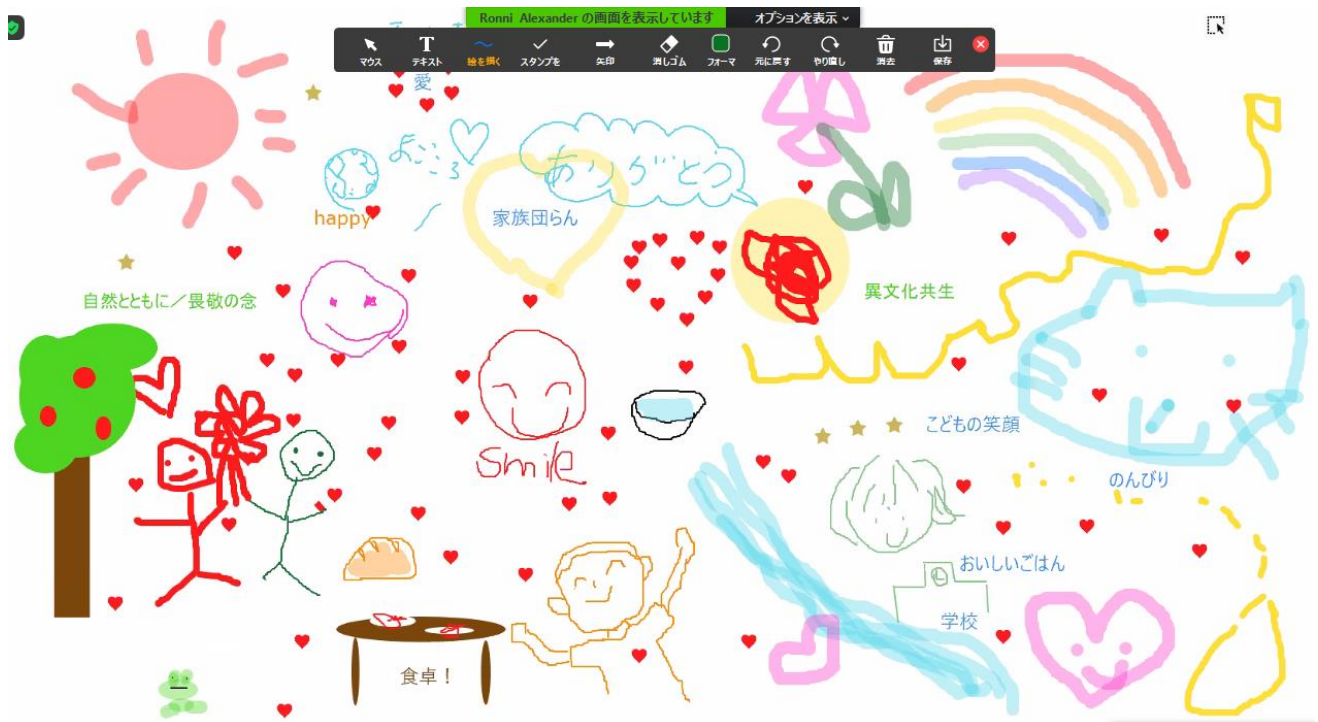
第 17 回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー

2020 年 8 月 4～6 日、オンラインにて第 17 回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナーが開催されました。例年であれば、JICA 関西で国際教育理解に興味のある方々とワークショップを行っていましたが、今年はコロナの影響で Zoom での開催となりました。Zoom でもポーポキのワークショップができるとロニー先生から心強いお言葉をいただき、今年も「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」の分科会を実施することができました。

分科会では、平和についての学びと参加者同士の意見交換、そして表現活動を行いました。COVID-19 の影響で私たちの生活様式が一変して、今では当たり前のようにマスクと手洗い・消毒をするようになりましたが、家がない人はどのようにステイホームしたらいいのか？きれいな水がないところでの手洗いはどうしたらいいのか？ロニー先生の言葉かけに参加者は隣で困っている人たちの安全と安心について考えるきっかけとなりました。ついつい、自分のことだけ考えがちですが、私の平和は隣の人にとって必ずしも平和であるとは限らないことを覚えておかなければいけません。安全と安心、平和と暴力について学んだ私たちは最後に「ポーポキと一緒に暮らす安心、安全で平和なまち」を表現しました。Zoom の機能を使ってお絵描きするのははじめての試みでしたが、ポーポキ／自然／笑顔／愛などそれぞれの思いを絵で表現しました。

オンラインだと参加者と気軽に相談しながら絵を描くということは難しいですが、絵の力を通して参加したみなさんと一緒に平和な空間を作り出すことができました。

神戸 YMCA 国際・奉仕センター
中道愛子



第 10 回ワークショップ 「健康って、なに色？」

やこにゃん

2020 年 10 月 24 日土曜日の 2 時から 4 時に、「健康って、なに色？」のワークショップがオンラインで開催されました。英語や日本語を話す 15 名ほどがこのワークショップに参加しました。

まず、ワークショップはポガから始まりました。肩を回して、参加者はリフレッシュ。次に、健康と平和について考えさせてくれる『ポーポキのピース・ブック』からのおはなしを順番に朗読しました。それから、ファシリテーターが示す写真に対して健康と感じるか、それとも平和と感じるか、それについて意見を出し合いました。わたしたちは、マスクをつけた人込みや静かな湖畔でのソロキャンプや鍋料理などについて様々な視点から話し合いました。笑顔の飼い主と一緒に、マスクをつけた犬は平和じゃない？

あなたにとって、健康って、なに色でしょうか？色はわたしたちの感情と結びついています。明日の健康の色は昨日の健康の色と違うかもしれません。このときの参加者が教えてくれたのは、オレンジ色、秋晴れの日の空の青、海の青、植物の緑、太陽の黄色、ひまわり色、ラベンダー色、マゼンダ・ピンクなど。ポーポキは伝えたいかもしれません。「同じ色だと思っているから同じもののはなしができる。でも、同じ色だと思っても、人それぞれでちょっとずつ違う。それがとても重要なことかもしれない」って。

それから、ポーポキのマスクギャラリーの動画を見ました。これはろにゃんがコロナ禍の象徴でもあるマスクを通して、微笑みながら日常をふりかえるきっかけをつくりたいという思いから生まれたものです。わたしたちの多くにとってコロナウイルスへの感情はパンデミックのはじまりのときから変化していることでしょう。わたしたちは 3 月と今の感情の変化

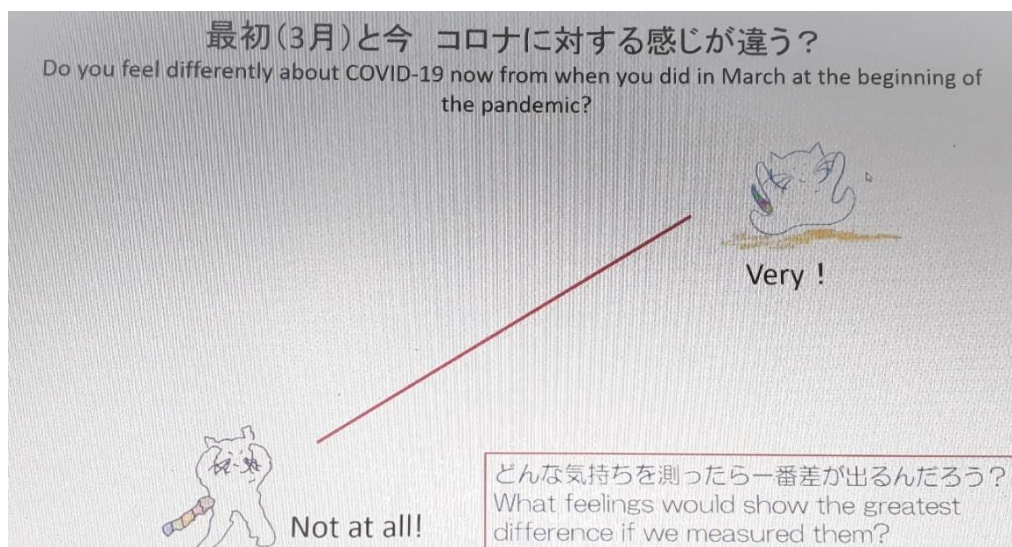
について話し合いました。このディスカッションから、まわりにふりまわされなくなるように、何が変わってきたか、なぜ変わってきたかを振り返ることが大切だということを私は学びました。

さとにゃんのプレゼンテーションで、わたしたちはコロナウイルスやパンデミックについても学習しました。さとにゃんはこのパンデミックを克服するには多くの困難があり、とても大変なことだから、乗り越えるために世界は一つにならなければならないと語りました。

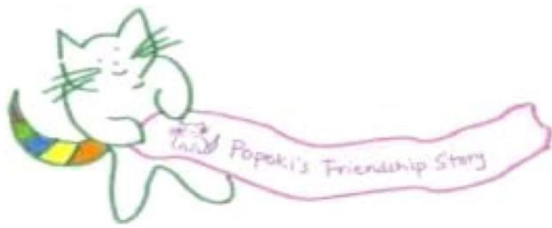
その後、わたしたちはお絵かきをしました。ポーポキが泣いていました。参加者は、みんなにとって安心して平和で健康な生活を考えながら、おはなしを作り、オンラインで絵を描きました。最後に、振り返りとして、わたしたちにとって大切なものについて話し合いました。

ろにゃんは終わりにこう話しました。「精神的にも身体的にもみんなの健康に害を与える社会では平和といえない。誰もが健康でいられる社会をみんなで作っていかたい。パンデミックはそういうことを考えるきっかけになる」。

参加者のみなさま並びに兵庫医療大学のみなさま、ありがとうございました。



写真：ワークショップでの画面



Popoki's Interview

*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、韓国の話です。

韓国の首都ソウルとコロナウイルス

聞き手: 阿佐優花

こんにちは、阿佐優花です。今回は私の友人である、美果さんに「あなたの住んでいる国とコロナウイルス」という比較的大きなテーマでインタビューをしました。なぜなら、彼女にコロナウイルスの状況を自由に表現していただきたかったからです。

美果さん: 彼女は韓国のソウルにおけるコロナウイルスの様子を報告してくれました。



図1: ホンデのメインストリート



図2: ホンデのメインストリート

ソウルのホンデにあるメインストリートの様子です。蒸し暑くて湿度が高いにもかかわらず、ほとんどの人はマスクを着用しています。また、多くのお店や屋台は休まず営業していますが、外国人観光客の減少により、コロナ前と比べると閑散としています。



レストラン、カフェ、バーは通常通り営業していることから、そのいくつかは満席で、行列ができているお店も見受けられます。私の知る限りでは、ほとんどの店では、「ソーシャル・ディスタンス」への対策を行っていません。

図3：街の様子

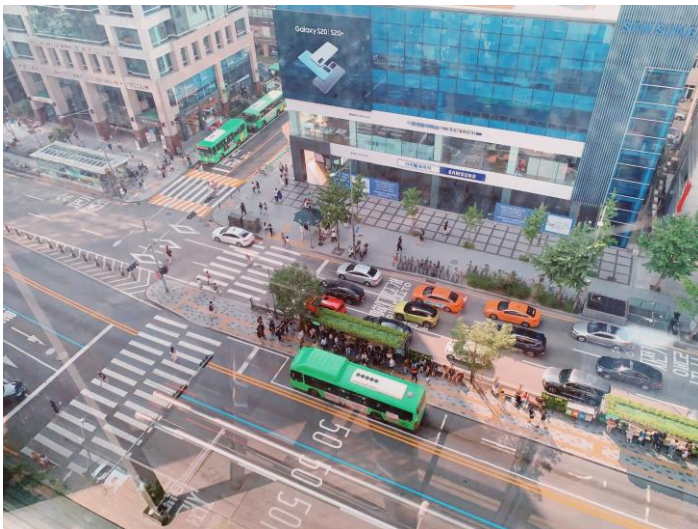


図4：街の様子

図5：地下鉄

空港リムジンと AREX 急行列車を除いて、ほぼすべてのバスと地下鉄が通常通り運行しています。乗車率が高い路線では、コロナウイルス感染拡大防止のために、乗客全員にマスク着用を呼びかけ、地下鉄の各駅ではマスクを販売しています。



図6: ハンドジェル



図7: リストバンド

(左側) 政府は、留学生に無料でマスクと消毒ジェル1本を配布しました。(右側) 大学はキャンパスの再開に向けて「感染管理システム」を導入しました。そのシステムとは、教職員、来客者、学生等、キャンパスを訪問するすべての人に健康状態を申告させるというものです。また、学生に対しては学生ID、QRコードをスキャンさせ、大学のキャンパス内で手首にリストバンドを装着させるのです。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 151

今月のテーマは、コアや太ももの内側を鍛えましょう！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、足をまっすぐのばして、横向きで横になりましょう。上の足をゆっくり上げたり下げたりしましょう。終わったら、反対側ね。10回ずつ繰り返しましょう。
3. 次は、横向きのままで膝を曲げましょう。足首を引っ付けたまま、大きなハマグリののように、膝を曲げたまま上の足をあげたり下げたりしましょう！反対側もね。10回ずつ繰り返しましょう。
4. 最後は再び足を延ばして、今度は両方の足を一緒に上げたり下げたりしましょう。反対側もね。10回ずつ繰り返しましょう。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー一会：12月11日 Zoom会議 19:00～* ポー一年会も！**

*リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

**今年のポー一年会では、今年のふりかえり方として、「安心」や「平和」を考えます。

重要！！準備：今から、参加する予定の各自が自分の日常生活の中で見聞きしたり感じたりする安心や平和をマッピングして、当日共有できるようにする。

一番シンプルな方法：写真を撮ったり、絵を描いたりする。

もう少し複雑な方法：歩いた地域の地図の上に、そういったイメージを載せる。

ポー一年会では、それらを共有しながら、この一年間をふりかえり、新しい年を元気に迎える準備をします！

ポーポキの友だちからのおすすめの本

『りょうくんのすすむみち—学校に行けない君たちへ—』作・絵 かねしろ みゆき、学研2019年。

大槌町 『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会、ほか。2019.7。

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバー<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
 - ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
 - 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
 - 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
 - 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
 - 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
 - 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
 - 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
 - R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
 - 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
 - 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
 - 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
 - K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
 - S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
 - R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
 - 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
 - No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
 - 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑯(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
 - 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
 - [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
 - 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
 - FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
 - “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
 - 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
 - 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
 - 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
 - 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
 - 『「ポーポキ、友情って、なに色?」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
 - 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
 - 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
 - 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
 - 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
 - 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
 - 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
 - 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
 - ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
 - やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
 - 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
 - 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
 - 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

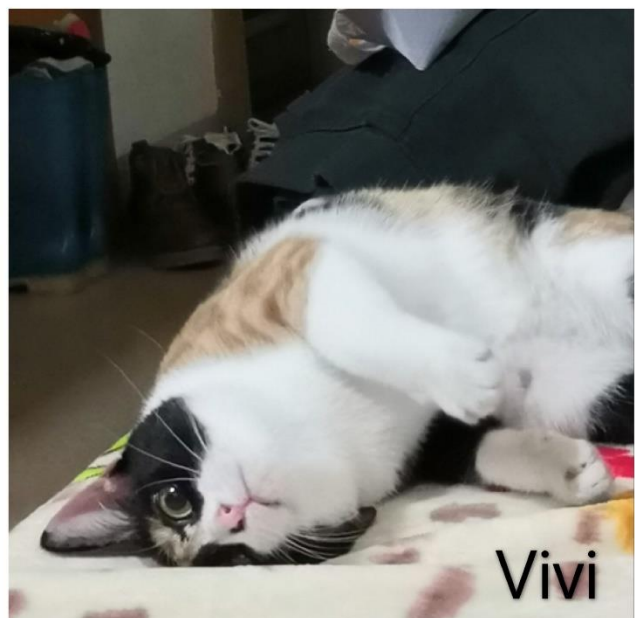
ジーンにゃん

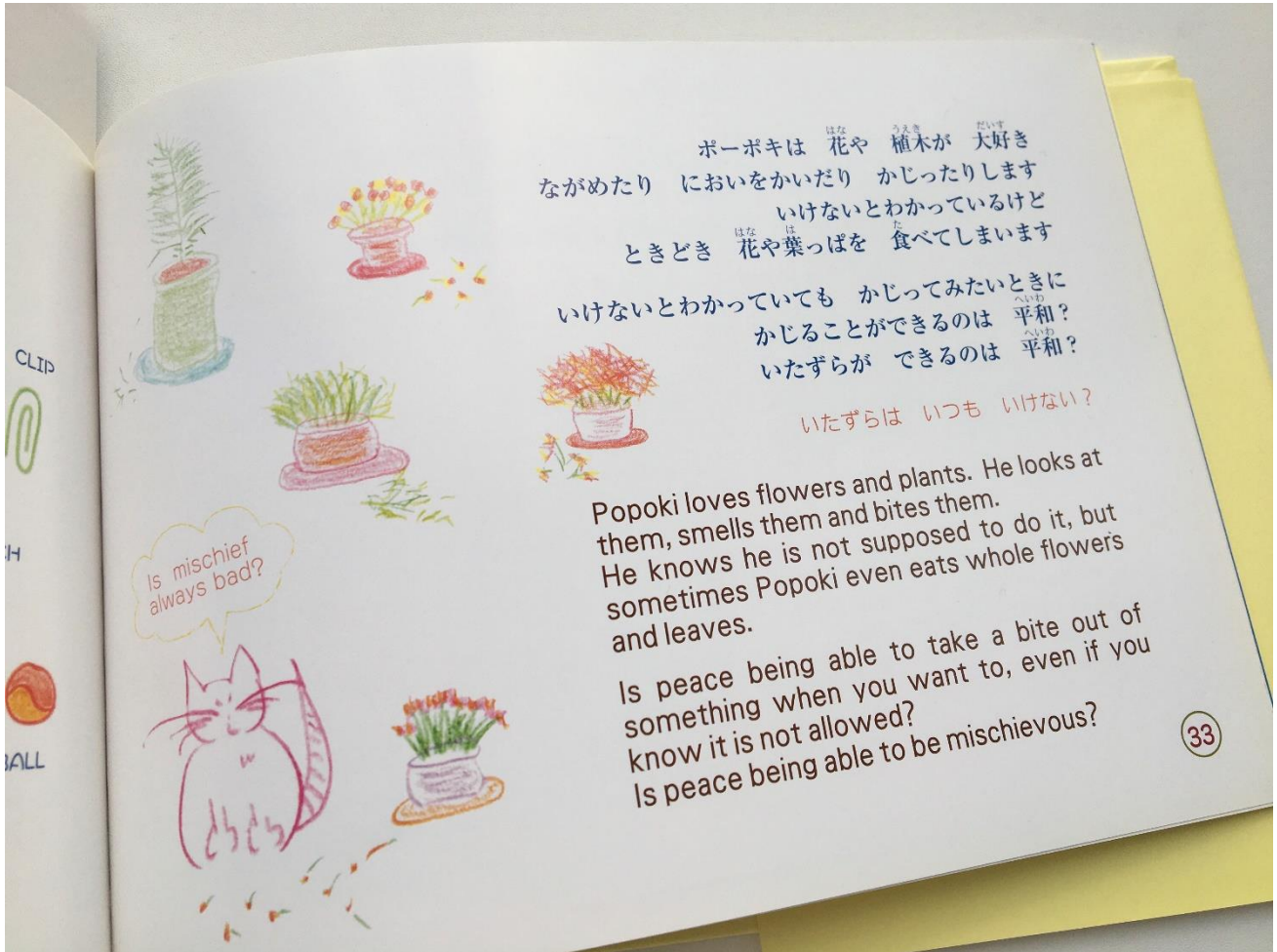
ポーポキとの最初の出会いは、私がちょうど日本に到着した2019年9月の最後の週末でした。その前は、ポーポキは色とりどりの尻尾の猫だと思っていました。いくつかのポーポキ活動に参加した後、ポーポキは単なる猫ではなく、より平和な世界を作ることに専念している猫のグループであることに気づきました。

ポーポキの本を読んで、平和は戦争がないことだけでなく、良好な関係、平等な地位、そして健全な意識であることに気づきました。加藤裕子さんの福島についての話から核兵器禁止条約の議論まで、平和を実現するプロセスは簡単ではないことを学びました。COVID-19の間、インタビューをしたり、ポーポキのワークショップで自分の意見を述べたりすることで、私たちはみんな平和を愛しているにもかかわらず、平和への理解には少し違いがあることを発見しました。私たちの世界にはもっと多くの包含と理解が必要です。

ポーポキについて、私にとって一番幸せなことの一つを共有します。私は中国の広州に親友（林）がいます。彼女は猫が大好きで、今も二匹の猫と一緒に暮らしています。ポーポキについて彼女と話した時、彼女は興奮して、「ポーポキにビビとウィザードを紹介したい！」と言いました。嬉しいことに、ポーポキという猫以外にも、林さんが平和に関する話に興味を持ってくれました。ポーポキは自分でも想像できないぐらい世界中に友達が多い！

ポーポキは私の考え方や行動を変えました。人々の平和への理解を拡大し続けることを期待しています。深く学び、真に触れ、柔軟に考えることができるようになることを願っています。





『ポポーキ、平和って、なに色?』の好きなページ





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!